



三宅 銀

重量挙げ女子48キロ級

父娘でメダリスト



ロンドン五輪第2日の28日、重量挙げ女子48キロ級で3度目の五輪となる三宅宏実(いちご)がスナッチで87キ、ジャークで110キを挙げてトータル197キの日本新記録をマークし、銀メダルを獲得した。重量挙げの

3度目で悲願達成

バーベルを握り始めて12年目。偉大な父と伯父の背中を追い続けた重量挙げの三宅が「3度目の正直」でついにメダルをつかみ取った。2000年シドニー五輪で採用された女子で、日本初の表彰台。集大成と位置付けた舞台上、悲願を達成した。

初出場の04年アテネ五輪は腰痛の影響で9位、前回の北京五輪は減量ミスでパワー不足に陥り、6位にとどまった。2度

女子48キ級 スナッチで87キに成功した三宅宏実 // エクセル

日本女子では初のメダル獲得。

三宅はスナッチを3度とも成功させて日本新記録をマーク。ジャークも2度目の試技で自身の持つ日本タイ記録の110キに成功した。

初出場の水落穂南(平成国際大)はスナッチで80キ、ジャークで自己新記録の96キに成功し、トータル176キで6位入賞。優勝は王明娟(中国)でトータル205キ。

プロ野球でバース(阪神)と落合博満(ロッテ)が三冠王に輝いた1998年に生を受け、うかむりが三つ並ぶ三宅宏実と名付けてもらった。成功を祈ってきた父の思いに、26歳の娘は最高のプレゼントで恩返しした。